

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成24年3月26日

審査機関名 ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|--------------|--|
| 排出削減事業名 | A重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト |
| 承認番号 | 0095 |
| 排出削減事業者名 | 株式会社 和染 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 FTカーボン 丸紅 株式会社 (その他関連事業者名:日本サーモエナー) |
| 事業実施場所 | 株式会社 和染 染色工場 (大阪府泉大津市式内町8番28号) |
| 事業の概要 | A 重油ボイラ1 台を都市ガスボイラへ更新する。ボイラ更新を実施することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2008年度:18 tCO ₂ /年、2009年度～2012年度:42tCO ₂ /年 (事業実施期間合計186tCO ₂) |
| 国内クレジット認証期間 | 開始予定日 2008 年10月22日 終了予定日 2013 年3月31日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号001: ボイラーの更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2010年1月6日 ～ 2012年2月1日(第2回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正であることを確認した。

| | |
|-------|--|
| 排出削減量 | 69tCO ₂ (2010年1月6日～2012年2月1日) |
|-------|--|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|---|---|
| <p>排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること</p> | <p>排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。</p> <p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 今回は2回目の実績確認であり、当該確認は省略した。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 事業実施サイト視察時に導入された設備が稼働していることを目視確認するとともに、検証に立ち会った関係者への質問やガス会社からの請求書をレビューした結果、導入設備は実績報告期間において稼働していた事を確認した。</p> <p>3) その他承認排出削減事業計画から重要な変更がない事を確認した。</p> |
| <p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p> | <p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 事業実施サイトの視察、検証に立ち会った関係者への質問や、ガス会社からの請求書等を確認した結果、モニタリングは方法論及び承認排出削減計画に沿って実施されていた。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は採用されていない。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が最新版方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っている事を確認した。</p> <p>なお、計算に使用するボイラー効率の値については、計画書や昨年の実績確認とは違う値になっているが、これは低位発熱量換算係数が変わったためであり、適切である点確認している。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減</p> |

| | |
|------------------------|--|
| | 量の算定結果は最新版方法論（「排出削減方法論について」を含む。）に従って適切である事を確認した。 |
| 算定期間が2013年3月31日を超えないこと | 算定期間は2012年2月1日までであり、2013年3月31日を超えない事を確認した。 |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

該当なし。

以上